

平成 28 年 5 月 24 日（火）開催 第 1 回大津市事務事業評価委員会
 まち・ひと・しごと総合戦略に基づく地方創生交付金事業への意見等概要まとめ

① 地域防災力向上事業	事業内容 (概要)	(地域防災訓練企画運營業務事業) 地域防災力の向上を図るため、子どもたちやその親世代を対象とし、「防災」を楽しく知り学ぶための防災訓練の企画運営。 (避難行動要支援者支援プラン拡大事業) 高齢化が進む地域の防災対策を充実強化するにあたり、「避難行動要支援者支援プラン」を推進するため防災講演会を開催。
	各委員からの 意見・質問	・ 防災訓練や講演会が、一過性のイベントに終わらずに、実際の地域の自主防災活動にどれだけ結び付いたかを確認する仕組みづくりが必要ではないか。
	事業担当課の 説明等	【危機管理課】 ・ 市主催の防災訓練や防災講演会は毎年度実施している。 ・ 他の各種防災事業との複合的な取組みにより、近年、自治会、自主防災組織等、地域における防災に対する意識が高まりつつあると感じている。
	委員会としての 意見	・ 訓練等については、他の各種防災事業と複合的に取り組んでいるということだが、より地域の活動の活性化に結び付くよう取り組まれたい。 ・ 基本目標の数値目標である「防災対策が充実し安心だと感じている市民の割合」実績値（H27）を見ると、市民の満足度は十分ではないように見受けられる。地域防災力の向上を図るためには、引き続き取り組みを行っていくことが必要。
	今後の方針等	・ 地域防災訓練については、引き続き、地域イベントとの合同開催や、子どもやその保護者世代を対象に「イザ！カエルキャラバン！」の実施、また地域や自主防災組織とともに「津波避難訓練」や「防災講演会」を予定している。さらに、防災出前講座や各自主防災組織の訓練についての啓発、積極的な取組みなど、あらゆる機会を通じて防災意識の向上、地域防災力の向上に努める。

② 創業支援事業	事業内容 (概要)	創業希望者に対して、創業にあたり必要となる、「創業・財務・人材育成・販路開拓」の4つの知識を習得するためのセミナーを開催する。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業者8名はセミナー参加者21名に含まれるのか？セミナー参加者の満足度を確認し、実際の創業者増に結びつくようなセミナー内容の評価改善の仕組みづくり。 ・ 経済効果をどのように見積もるのか ・ セミナー終了後に、どのようなフォローアップを実施するのか。
	事業担当課の 説明等	<p>【地域経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創業者8名(27年度実績)は新規創業者で、うち5名はセミナー参加者。 ・ 経済効果の数値化は難しいが、市域産業の活性化や雇用の創出等、費用に対して十分な効果が得られると考える。 ・ フォローアップとして、アンケート調査を実施。意欲のある創業希望者は、泉大津商工会議所の相談を斡旋している。
	委員会として の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ KPIについては、創業者数は実績値が目標値を大きく上回っている。 ・ 一方、セミナー参加人数が少ないので、一層の周知が必要。 ・ 今後は、セミナー修了生を対象に、意見交換をできる場を設けるなどのサポートが効果的ではないか。その際、市が多面的なサポートを行い、結果として、開業数が廃業数を上回ることが望まれる。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・ セミナーの開催に関しては、受講者の増加に向け、より効果的な告知方法等を検討し進める。 ・ 本市の特定創業支援事業者である泉大津商工会議所との連携のもと、セミナー参加者へより多面的なサポートができるよう、セミナーの開催内容等を検討し進める。

③ 地域産業トップセールス事業（事前調査）	事業内容（概要）	本市港湾のセールス対象となる地域・企業等を市長自らが訪問し、本市の魅力や情報の売り込みを行うことで、本港における貿易船の入港及び取扱貨物量の増加の促進を図り、また本市の地域産業についてのPRを行う。
	各委員からの意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・出張人数は？ 本番の1年程度前に事前調査を行う理由は？ ・訪問先としてオセアニアを選定した理由は？ ・トップセールスの成果は見えにくいものであることは理解しているが、成果として挙げることができるものがあるか？
	事業担当課の説明等	<p>【地域経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前調査は2人（本番は8～10人）。本番と同じ時期、同じ行程で行き、本番に向けての調整を行うため。 ・繊維、港湾といった産業基盤が類似している都市として選定した。 ・中古車の主たる輸出先としてニュージーランドがあり、次のターゲットとしてオーストラリアが考えられるため。 ・船舶の入港実績（隻数やトン数）により成果を測ることができる。
	委員会としての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIについては、目標値を達成している。 ・事前調査は、本番のための地ならしであるので、相手先との信頼関係の醸成とともに、ビジネスマッチングにつながる支援の下地づくりに努められたい。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年2月に予定している地域産業トップセールス本番に向け、各関係機関と綿密に連絡を取り相互において情報共有を行うとともに、入港及び貨物量の増加に加え、本市の地域経済の活性化に繋がるよう現地の関係機関及び団体等に対して効果的なセールスを行う。

④ 港湾トップセールス事業	事業内容 (概要)	アセアン諸国等の中から、1～3か国を選定し、本市港湾のセールス対象となる地域・企業等を市長自らが訪問し、本市の魅力や情報の売り込みを行うことで、本港における貿易船の入港数及び取扱貨物量の増加を促進する。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナムとのビジネスマッチングを促進していくための仕掛けは？ ・訪問の際には企業の役員も同行しているのか？ ・市長が行く必要性、言い換えれば、市長が国内不在であることによるリスクも考慮に入れるべきでは？
	事業担当課の 説明等	<p>【地域経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリア・ブントウ省と覚書を締結し、ビジネスセミナーの開催などを実施したところ。 また、JETROやJICA等の協力も得ながら、ビジネスマッチングにつなげる取組を進めている。 ・訪問団に参加する企業を募り、社長をはじめ当該企業の役員等が同行している。
	委員会として の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIについては、実績値が目標値を大きく上回っている。 ・市長が行くことの必要性、費用面、成果についての検証が求められる事業であり、バリア・ブントウ省との覚書の締結などの実績が上がっていることは分かるが、事業のKPIとしては調査・調整実績に加えて、商談件数なども設定できないか。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き国際拠点港湾「堺泉北港」の魅力を、国内外に向けて広く発信し、港湾の利活用の促進を図り、ひいては市域全体の活性化を繋げていく。 ・特に、「経済協力の覚書」を締結したバリア・ブントウ省（ベトナム）とは同覚書をもとに、本市の商工業の振興を図るべく今まで以上にさらに踏み込んだトップセールスを展開していく。

⑤ 販路開拓支援事業	事業内容 (概要)	商工会議所、繊維産業関連団体等が展示会等へ出展する際の出展費用を支援する。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> 商品の展示会出展への支援だけでなく、出展した企業がその後どうなったか、出展後にどのような課題を抱えているのかなどを把握しているか？ 泉大津という地域をPRするための支援はあるのか？
	事業担当課の 説明等	<p>【地域経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商工会議所や市で事業実績報告を受け、効果検証を含め聞き取り調査を実施するなどして、把握を行っている。 産地としての泉大津をPRするため、Qマークによる品質のPRや、アートブランケットによる技術力のPRに努めている。
	委員会としての 意見	<ul style="list-style-type: none"> KPIについては、目標値を達成している。 Qマークだけをもって、高品質を謳い、ブランド化を図るのは難しいのではないかと。どうすれば泉大津製品の高品質を効果的にアピールできるか、さらに検討が必要。 商工会議所や事業者を巻き込み、展示会だけでなく、より包括的なアピールを行う必要があると思われる。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> 泉大津で生産される高品質な毛布を効率的にアピールできるよう、Qマークの普及・定着と併せて、泉大津ブランドの確立に向けた取組も検討していかなければならない課題である。 商工会議所や事業者と連携し、シティプロモーション活動の一環として、毛布やニット、毛織物のPRも実施しており、今後も発展的取組を実施することで、「繊維のまち・泉大津」をアピールしていく。

⑥ 空き店舗活用兼高齢者サービス事業	事業内容 (概要)	泉大津市の友好都市である和歌山県日高川町と連携し、商店街の空き店舗を活用して週2日、同町の特産品である産地直送の野菜・果実などを販売する。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街への来街者を増加させるための方策を行っているか？ ・日高川町以外に提携しているところはないのか。
	事業担当課の 説明等	<p>【地域経済課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉部局が同店舗で相談事業を実施するなどの工夫を行っている。 ・友好都市である日高川町以外にこの事業で提携しているところはない。
	委員会として の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIについては、目標に対する達成度はまだ十分とは言えない。 ・物販について、今後は、連携先を日高川町以外にも広げてみても良いのではないか。 ・空き店舗を、世代を超えて交流する場として活用していくことで人が集まるようになるのではないか。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施を契機とし、商店街への来客数が増えるよう、空き店舗の活用方法を多方面から検証するとともに、商店街が実施する取組への支援を継続して実施していく。 ・福祉部局が同店舗で相談事業を実施するなど、本事業をきっかけとして様々な展開がなされているが、さらなる横展開を検討していく。

⑦ 子育て支援サイト運営事業	事業内容 (概要)	スマートフォンアプリ及びポータルサイトにより、子育て関連に関する情報を集約・一元化して発信することで、泉大津市における子育て世代への支援を充実させる。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・ K P I の実績値が低い理由は？ ・ バーチャル上だけでなく、実際に子育て世帯が集まる場所があるのか？
	事業担当課の 説明等	<p>【こども未来課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アプリが出来てからの2ヶ月程の期間の実績数のため数値が低いもの。 ・ およこ広場などを開設している。
	委員会としての 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ K P I については、アプリ等が出来上がったばかりということで、実績を上げていくのはこれからの感がある。 ・ 今後は、アプリ等の活用実態を把握するため、グループインタビューなど、利用者を集めたヒアリングなどを行うと良いのではないかと。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の立場に立った子育て情報を発信し、養育者が安心して子育てしていただくため、わかりやすい子育て情報を求める子育て世帯のニーズを的確に把握する。

⑧ こども医療費助成事業	事業内容 (概要)	小学6年生修了までの通院・入院に係る医療費の一部を助成する。一医療機関につき自己負担額1日上限500円、同月同病院であれば月2回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円。 平成27年4月診療分から通院に係る医療費助成を小学3年生修了から小学6年生修了までに拡大し、拡大部分の助成費用について本交付金対象とする。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・財源確保の問題はあると思うが、今後拡充していく予定はあるのか？ ・定住促進のためというよりは、他の子育て支援事業とあわせて、市民への福利厚生という面を前面に出した方が良いのではないか。
	事業担当課の 説明等	<p>【こども未来課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡充には、財源の問題もあり政策的な判断が必要と考えるが、当該事業だけで子育て支援を捉えるのではなく、その他の支援事業とあわせて総合的に見てほしいと考えている。
	委員会として の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIについては、前年より改善しているが目標値をやや下回っている。 ・この事業は、財源確保の問題が大きい事業である。 ・定住促進というより、他の子育て支援事業とあわせて、市民への福祉あるいは優しい支援という面が大きい事業のように思われる。 ・これまで通り、子育て支援については、医療費助成だけでなく、子育て関連施設や相談の充実など、泉大津市がトータルで他を上回るようにするという考え方のもとに、施策を展開していくべき。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・定住促進につながる子育て支援施策について、医療費助成も含めて総合的に取り組んでいく。

⑨ 子連れおでかけ安心マップ作成事業	事業内容 (概要)	子育て世帯に対する外出支援の一環として、子連れで出かける際の助けとなる施設（幼稚園、保育所、認定こども園、公共施設等や赤ちゃんの駅、地域子育て支援拠点、子ども用品がある場所等）を明示した地図を作成し、就学前児童の保護者等へ提供する。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・マップに載っている情報が断片的ではないか？ ・マップを紙媒体で作成したのは、アプリ等を使えない方に配慮してのことか？
	事業担当課の 説明等	<p>【こども未来課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペース的に限りがあるため、掲載する情報を絞っている。利用者には、マップ、アプリ、ガイドブックと複合的な活用をしていただきたいと考えている。 ・アプリ等を使えない方への配慮もちろんあるが、マップの一番の特長は、一目で全体が分かること。市域のどこに何があるかを全体的に把握したうえで、子細はアプリ等で調べていただくという発想。
	委員会としての 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・K P Iについては、目標値を達成している。 ・マップは見やすく、マップで全体を見せて、子細はアプリでと複合的に展開しているのは良い。 ・今後、マップ以外のガイドブックなどを作るときには、ポータルサイト等から市民の意見を把握し、それを活かす取り組みを強化すると良い。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から配信しているスマートフォンアプリ及びポータルサイトなどを活用し、子育て情報を求める子育て世帯のニーズに合った情報提供に努める。

⑩ 展示施設案内の多言語化事業	事業内容 (概要)	本市の歴史・文化を発信する基地である池上曾根弥生学習館・織編館の展示案内、音声ガイドを整備し、3か国語（英語・韓国語・中国語）の館内案内のパンフレットを作成する。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に海外から来館者が施設を訪問するような取組を行っているのか？ ・これまで、海外からの来館者に対してはどのような方法で案内していたのか？ 来館者側の通訳に任せていたのか？ ・今回の事業対象施設に関して、観光客を引き寄せるための、思わず来たくなるような特長は何かあるのか？
	事業担当課の 説明等	<p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一例として、泉州地域の9市4町で行っている泉州観光プロモーション活動の一環として、台湾からの視察団などを受け入れており、海外からの来館がある。 ・これまでは、来館者側の通訳に頼っていたが、この事業により、今後は音声ガイドで案内できるようになった。 ・弥生時代を体験、真田紐の手織り体験など、日本の文化を体験する施設であるという点をアピールしている。
	委員会としての 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIについては、目標値を達成している。 ・訪日客の消費行動は、モノ消費からコト消費へと移る傾向があり、施設を体験の場としてブラッシュアップすると、利用者によるSNSでの情報発信や、口コミによるPR効果などが望めるようになるのではないか。 ・施設での体験をより有意義なものとするための手助けとして、ボランティアガイドの活用などが望まれる。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後より多くの海外からの来館者を獲得するための手法として、これまでの宣伝方法に加え SNS 等を活用する。

⑪ 「泉大津市小学校スタートカリキュラム」 開発事業	事業内容 (概要)	平成27年度は、就学前で培われた「学びのめばえ」を小学校教育に円滑に接続するための「泉大津市小学校スタートカリキュラム」の研究・開発を行った。大学の専門家の指導・助言のもと、「泉大津市保幼小体系化プログラム作成検討委員会」を立ち上げ、スタートカリキュラムのリーフレットを作成した。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業の狙いは？ ・K P Iの実績値の考え方は？
	事業担当課の 説明等	<p>【指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前と小学校のスムーズな接続、いわゆる小1プロブレム解消を図るため。 ・小学校8校中2校で実施のため、25%とした。3年間で100%をめざす。
	委員会としての 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会が主導してカリキュラムを作成し、学校現場に伝達中とのことであるが、実施に当たっては現場の負担が大きいと思われるため、現場の理解を得ることが重要。 ・現場の教師を巻き込んだ伝達を行い、それがどれだけ上手くいったか、また、教師のカリキュラムへの賛同の度合について検証しながら進めていくことが重要。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度市内公立各保育所・認定こども園・小学校より1名ずつ委員を選出し、「泉大津市保幼小体系化プログラム作成検討委員会」として活動し、スタートカリキュラムリーフレットを作成した。 ・平成28年度も作成検討委員会において、現場の意見を取り入れながら開発を進める。今年度の目標を、①接続期カリキュラムの実践事例集の作成、②就学前施設と小学校の効果的な交流・連携の研究、の2つとし、事業を継続する。

⑫ 地域 人材 育成 事業	事業内容 (概要)	人材力活性化研究会による「地域づくり人の育成に関する手引き」で事例として紹介のある全国市町村国際文化研修所や市町村職員中央研修、やねだんなどが行う地域づくり人の育成に資する研修その他それらに類する研修に参加しようとする団体及び個人に対する補助。
	各委員からの 意見・質問	・市が想定する具体的な地域のリーダーの役割とは？
	事業担当課の 説明等	【人権市民協働課】 ・地域の課題を発見し、解決方法を探し、活動すると想定しており、具体的には自治会役員のなり手が減っており、次世代の育成が必要と考えている。
	委員会として の意見	・K P Iのうち、非営利活動の実施に向けての相談件数については目標値を達成しているが、地域リーダー研修参加者の実績値が目標値より低い。もっと参加してもらえるよう工夫の余地があるのではないかと。 ・市として考えている地域で活躍するリーダーのモデル像をもっと発信すべき。泉大津市ならではの活動例などを収集し、冊子などにまとめて、わかりやすいツールで発信してはどうか。
	今後の方針等	・平成 27 年度に初めて実施した事業であり、事業の認知度が低いと思われることから、市民への周知を図りながら実施する。

⑬ 女性の 活躍 支援 事業	事業内容 (概要)	出産等により離職した子育て世代の女性の再就職を支援するための講座実施に伴う事業委託。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者が受講しやすくするための工夫はしているのか？ ・参加者の再就職状況を把握するための手段はあるのか？
	事業担当課の 説明等	<p>【人権市民協働課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園で開催するなど、参加者の実態を踏まえて工夫した。 ・連絡先を把握しているので、追跡調査の実施は可能である。
	委員会として の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・K P Iのうち、セミナー受講者数については目標値を達成しているが、新規就業者数に結びついていない。 ・今回のセミナーは、将来の再就職へのきっかけづくりということなので、今後のセミナー受講者に対するフォローや追跡調査などを行い、就業に結びつけるための息の長い支援を行うことが望まれる。 ・今後は、再就職希望者の受け入れ促進のための企業側への啓発が必要ではないか？ また、ハローワークや市役所の他部署と連携して支援を行えば、一層、結果に結びつけ易くなるのではないか。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度は市単独実施となるが、ハローワークや関係課と連携しながら実施する。

⑭ 協働による地域活性化事業	事業内容 (概要)	中間支援団体における中間支援機能強化を目的としたプログラムの実施に係る事業委託。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・団体が継続的な支援を望んだ場合、どのような支援があるか？ ・市の支援ありきの運営にならず、団体が自立するようにどのように支援しているのか？
	事業担当課の 説明等	<p>【人権市民協働課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の「がんばろう基金」を活用し、団体の活動段階に応じた支援を行っているので、それを利用してほしいと考えている。 ・「がんばろう基金」を活用した支援では、審査会での厳しい審査を行いながら、10年程度の長いスパンで自立に向けた支援を行っている。
	委員会としての 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・K P Iについては、目標値を達成している。 ・本事業は、泉大津市総合戦略の「基本目標4」の数値目標の達成に大きく関わる重要なものと思われる。この数値目標の達成に寄与するような市民活動団体の支援の方法について、中間支援団体における中間支援機能強化を始め、さらに検討していただきたい。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の実績を踏まえ、今後は、中間支援団体が団体に応じた方法、内容で自主的に機能強化を行っていただき、市は、その取組を支援する。

⑮ 市民主体のまちづくり応援事業	事業内容 (概要)	ポータルサイトの制作 地域活性化に関するハンドブック作成 市民交流イベントの開催 地域団体に対する活性化事業への助成 防犯カメラ設置
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラについての運用管理のコストはどの程度か？ ・防犯カメラの映像の管理の方法は？ ・警察との連携は？
	事業担当課の 説明等	<p>【人権市民協働課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気代は防犯カメラ1台あたり、1ヶ月に約300円となっている。 ・プライバシーの保護のため、映像の管理に関するガイドラインを定めると共に、記録方法をカメラに内蔵のSDカードによることとしている。 ・市、自治会、警察の三者で協定を結び、連携している。
	委員会としての 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・活動団体の活性化に関しては、KPIの情報発信している団体数の実績値が目標値を大きく上回っている。 ・また、もう1つのKPIである「犯罪が少なく安全なまちだと思える市民の割合」については、前年より実績値がやや低下し、目標未達である。 ・今後は、防犯カメラをどのように使って効果を上げていくかが大きな課題と思われる。 ・市内の犯罪発生の減少については、具体的なデータ数値で成果を把握できるようにすべき。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、防犯カメラの設置を推進するなど、セーフコミュニティ活動とも連携し、成果等を把握しながら実施する。

⑩ 都市港湾を観光拠点・観光資源として活用する地域活性化事業	事業内容 (概要)	出港待機中の長距離フェリーを活用して、本市に馴染みの薄い大阪市・八尾市以北在住者、訪日外国人観光客、外国人留学生をターゲットとして、泉大津港から大阪・神戸の街や明石海峡大橋を洋上観覧して泉大津港に戻ってくる昼間ショートクルーズをモニターツアーとして催行する。 船内では、毛布やニット製品のオークション形式での販売、市内和洋菓子店のスイーツの試食と販売を行って泉大津の特産品をPRする。
	各委員からの 意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業の目的は？ ・大阪市八尾市以北の在住者をターゲットとした理由は？
	事業担当課の 説明等	<p>【企画調整課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シティープロモーション。まずは泉大津の存在を知っていただくことを目的としたもの。 ・本市への転入者は、府内移動者が全体の69%を占め、その中でも泉州地域各市町からの移動者が半数以上を占める(67%)など、地元地域への志向性が強い傾向にあるので、新たな転入者の可能性を探るため、本市に馴染みが薄く、且つ、通勤圏内として本市の交通利便性のPRが効果的と思われる、大阪市・八尾市以北の地域をターゲットとした。
	委員会として の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIについては、特産品売上額を除いて、目標値を概ね達成している。 ・今後の方向性としては、長期計画になるが、神戸や函館のような港まち特有の情緒のある市としての魅力を醸し出すことができるまちづくりをめざすべきではないか。 ・また、フェリーの就航先である九州で市のプロモーションを行うことを考えても良いのではないか。
	今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・港まち特有の情緒のあるまちづくりについては、都市計画やインフラ整備などにも関わってくることから、きわめて長期的に検討していかなければならない課題である。 ・フェリーの就航先である九州における本市のプロモーションについては、単に民間フェリー会社の乗客増加を図るためだけのものにならないように検討が必要。